

令和7年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特9		学校名	県立友部特別支援学校										学校長名	鈴木 和子			
副校長名							教頭名	平田 勝					事務(室)長名	上野 潤子				
教職員数	教諭	63	養護教諭	3	常勤講師	7	非常勤講師	2	実習助手	2	寄宿舎指導員	12	事務職員	3	技術職員等	16	計	109
幼児・児童・生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	幼稚部																	
	小学部	5	1	4	2	5	4	8	2	10	5	11	2	43	16	14		
	中学部	7	3	11	5	7	6							25	14	10		
	高等部	10	5	15	5	9	2							34	12	9		
	専攻科																	
														小計	102	42	33	
													合計	144				

2 目指す学校像

- ◆明るく楽しさみなぎる学校
- ◆力いっぱい活動できる学校
- ◆家庭や地域に開かれた学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ後に久しぶりに実施した学校全体行事については、授業の延長上に位置づけて実施できるよう、各部や学年で話し合いながら計画をすすめた。行事を通して児童生徒は達成感を味わうことができた。 ・ 不祥事の根絶を目的として、常に意見交換のできる風通しの良い職場環境を目指している。気になることは早めに報告、連絡、相談をすることを意識し、チームで課題解決に取り組む体制を構築している。 ・ 働き方改革については、校務分掌の内容や課題を把握し、効率化等について検討・改善してきた。各自が勤務時間を自己管理しながら業務を進めることができている。 ・ コミュニティ・スクール1年目は、学校からの情報発信と、校外資源の活用の両面で取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者のニーズと学校行事のあり方のすりあわせを行いながら、理解や協力を得られるようにしていくこと。 ・ 働き方改革は、良い授業づくりをするための時間づくりであるという意識をより高めていく。 ・ 引き続き、校務の効率化、平準化を図り、勤務間インターバルを意識しながら改善をすすめる。 ・ コミュニティ・スクールの取組みをさらに地域に広げ、授業づくりにつながるような地域資源を発掘すると共に、保護者に取組みを発信できるようにする。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校研究で授業づくりを目標とし、全教員で取り組んだ結果、各々の授業改善や自立活動に関する理解につながった。 ・ 障害の多様化や家庭環境を背景とした支援の難しいケースもあるが、学校、寄宿舎、家庭、関係機関等の連携を密に取りながら進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科の「見方・考え方」をおさえ、「身につけさせたい力」を明確にすること。その上で、教科と自立活動の関連をおさえて、授業づくりに活かしていくこと。 ・ 地域資源を授業づくりに活用していくこと。

4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 安心・安全・信頼される教育環境と危機管理体制の整備 2 子どもの実態や多様性を理解し、個に応じた自立と社会参加を目指すキャリア教育の推進 3 学校教育環境の変化を的確に捉え、新しい知識や技能を学び続けることによる資質能力や専門性の向上 4 学校と地域が連携・協働の視点を持ち、地域とともにある学校づくりの推進

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 授業づくりの推進	① 各教科等における育てたい力を明確にし、「できた」、「わかった」、「もっとやってみたい」と感じる授業づくりの推進 ② 各教科等において育まれる資質・能力を支える自立活動の指導目標や指導内容の評価及び改善 ③ ICTの効果的な活用と教師間の情報共有、職員研修の実施
2 地域とつながる学校づくり	④ 全校あいさつ運動の実践（あいさつマイスターの認定） ⑤ 卒業後の視点を踏まえた小学部・中学部・高等部の系統性のあるキャリア教育の推進 ⑥ コミュニティ・スクールの活用による教育活動の充実（地域資源の活用、とんとくマルシェ、交流及び共同学習、情報発信等） ⑦ 教員の専門性向上に向けた各種研修の実施と多様なニーズに対応するセンター的機能の充実
3 体力の向上と豊かな心の育成	⑧ 自分の良さや可能性に気づき、相手を尊重し人を思いやることのできる豊かな心の育成 ⑨ 専門家や保護者と連携した安全・安心な給食と食育、健康教育の推進（からだが喜ぶ給食） ⑩ 児童生徒が主体的に取り組む防災安全教育の計画的な実施 ⑪ けがや病気をしない丈夫な体づくり、体力づくりと衛生面の意識向上
4 教育環境の整備と信頼関係の醸成	⑫ 児童生徒が安心して学習や生活ができる教育環境（施設設備等）の整備 ⑬ 児童生徒及び教職員の事故防止に向けたヒヤリハット事例の共有、各種マニュアルの見直し・改善による危機管理体制の充実 ⑭ 服務規律の確保とコンプライアンス意識の更なる向上を目指したボトムアップ型研修の計画的な実施 ⑮ 児童生徒の手本となり、おもてなしの気持ちと明るくきれいな学校を目指す取組（整理・整頓・清潔・清掃）
5 働き方改革	⑯ 時間の使い方についての意識改革と勤務時間の適正管理 ⑰ 業務改善（校務・行事の見直し、効率化、ICT活用）による、授業づくりの充実